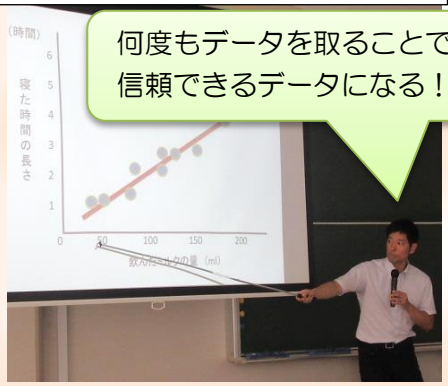
千葉市未来の科学者育成プログラムジュニア
自分で実験し、調べることに挑戦してみよう！
～科学的探究活動の基礎～

日時　令和５年７月　９日（日）９：３０～１５：３０
会場　千葉大学教育学部２号館２１１１・２１１２教室
講師　千葉大学教育学部　大嶌竜午先生
受講対象学年　小学校５年生および６年生　　**参加した受講生**　１２名

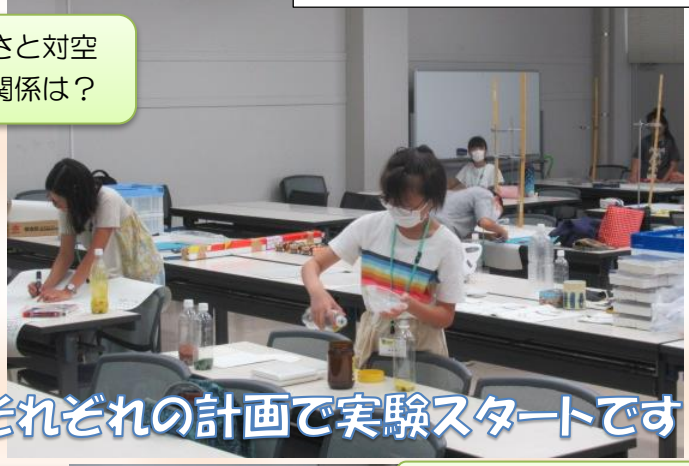
今日の課題を確認

跳び上がるおもちゃ、翼のあるおもちゃ、倒れるおもちゃなどから、探究するテーマを探します。大切なのは「自分で考えて実践すること」。用意された文房具などを自由に使い、探究活動を行います。



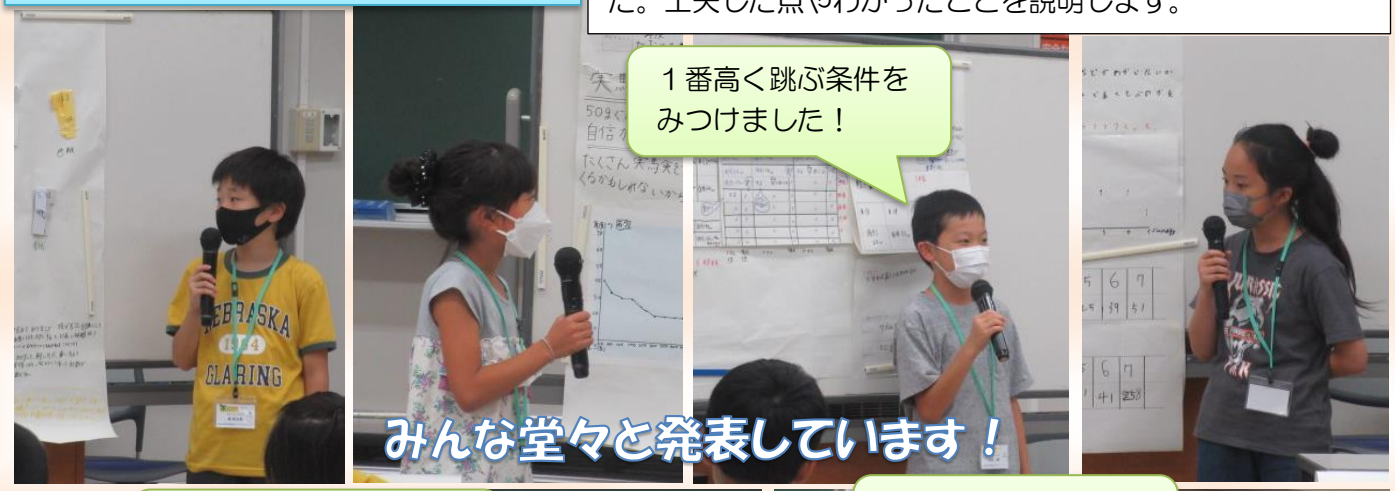
自分で実験して探究します

実験するおもちゃが決まったら、自分で考えた実験計画を元に実験を行います。



探究成果を発表します

最後は受講生や保護者の前で自分が調べたことを発表しました。工夫した点やわかったことを説明します。



◆参加した児童の感想

- 倒れるおもちゃについて１日研究をして、倒れるおもちゃについてもよくわかりました。また、計画を立てることや正確さを求めることの大切さも知ることができました。ありがとうございました。
- １つのおもちゃでこんなに深く調べることができて、自分でもびっくりしました。もっと理科が好きになれました。また今度も参加したいです。
- 実験計画を考えるのが楽しかった。できなかったものがあったので、家でやろうと思います。楽しかったのでまた参加したいです。
- とても楽しかったです。また参加したいです。時間がたくさんあったので、実験している途中に出てきた疑問について、すぐに確かめることができたのでよかったです。
- この学習で実験の進め方やプレゼンテーションのやり方など、いろいろなことを学べたのでとてもよい経験になりました。
- 実験をして、自分が実験した内容についてよく知ることができました。他の子が実験した内容についても発表を聞いて勉強になりました。

◆参加した保護者の感想

- 同じおもちゃを選んでいても実験がそれぞれ違っていて個性が出るなと思った。また、決してマイナス面を指摘せず良かった点を必ず見つけ出してほめて終わってくれるのがすばらしいと思った。
- まさに、小学校だけでは習えない、自ら考え、実験し、調べ、それを基にまとめ、プレゼンテーションまですると言う、得がたい経験をさせて頂きました。本人にとって、とても自信になったと思います。
- 「実験結果が仮に理にかなっていなくても、実験計画を立て、実験をしてその結果をもとに考えるという体験を大切にする」という考え方に共感しました。すばらしい体験をさせていただき、ありがとうございました。
- 発表の内容を見て、短時間でここまでできるのか！すばらしいと思った。家に帰り、本日の内容を、子供から聞くのが楽しみです。有難うございました。
- 実験計画など１人で立てられるのかなぁ？と心配していましたが発表している様子を見て、とてもがんばったのだと感心しました。今日は本人の成長にもつながり、参加して良かったと思いました。